

日本聖化交友会発会にあたって

聖化の旗を高く掲げよ

今回、日本に、「聖化」の恩寵を信じる者が一つとなり、聖化交友会を結成しましたことは、主の大いなる御憐みであり、また日本の教会に対する大きな祝福であると信じる次第でございます。

昨年の12月2日、本会は、お茶の水にて、芽出度く誕生いたしました。本会の結成は、今後の日本の歴史に、また教会の活動に大きな貢献をなすものとなることでしょう。

今年の2月27日、惜しくも副会長の長島幸雄師が召天されました。師が召される直前私の手を堅く握りながら、『聖化交友会が誕生して、僕の心の重荷はおりたよ』と語られました。本会の誕生は、多くの聖徒の長い祈りであり、神への懇願でありました。

日本に、神の恩寵による聖化の恵みの祝福が宣証せられて既に80年、東は、中田、笹尾の両師により、西は、バックストン、竹田、河辺の三師によって高揚され、この信仰は個人の中に、また教会の中に流れ、今日、このようにして結束し、結合されて前進をはじめました。やがて、これは日本の霊界を浄化し教会を聖化し、個々の信徒を強め、更に盛んなる宣教への躍進となることでしょう。

私たちは、ここに深い謙遜と敬虔さを以って、この聖化の恩寵を明確に自分自身のものとして経験し、また、生活と生涯に於いて立証することが必要でしょう。それと共に、本会に於いて、更に充実した霊交研磨の時を持たれ、団結を拡大し強固にしつつ、この低迷せるキリスト教会の中に、混濁せる世界の世相の中に、「聖化」の恩寵を高揚すべきであると信じる者であります。

私たちは今こそ、心を合せ、力を合せて熱く祈り、熱く相愛し、「聖化」の旗、ホーリネスの光を、高く掲げるべきではないでしょうか。

86.5.20



在りし日の本田弘慈先生



日本聖化交友会 発会会議のもよう